

## ミュージズ N0.8 平和のための博物館市民ネットワーク通信

発行：2002年8月

事務局：立命館大学国際平和ミュージアム

館長：安齋育郎

編集：山辺昌彦、山根和代

603-8346 京都市北区等持院北町 56-1

Tel: 075-465-8151. Fax: 075-465-7899 <http://www.ritsumeai.ac.jp>

### \* 2003年第4回平和博物館国際会議について \*

ベルギーの平和博物館から、第4回平和博物館国際会議の連絡がありましたので、お知らせします。

日時：2003年5月5 - 9日

場所：ベルギー（第一次世界大戦の戦場であったフランダース）

テーマ：戦争の記憶から平和教育へ

訪問予定地：ディスクムイデ（Diskmuide）にあるイーツェルタワー（平和博物館）、イーペルにある「フランダース戦場にて」という平和博物館、オステンドにあるナポレオン要塞、ブリュッセル、ヨーロッパ議会、Antwerp 付近の Breendonk にある強制収容所、平和コンサート（無料）、展示会（ノーベル平和賞受賞者など）

宿泊：Ostend にあるホテル（一泊 57-90 ユーロ）

登録費：125 ユーロ(上記の訪問は無料)

使用言語：英語

### 訪問予定地について

#### \* ディスクムイデ

この町には、有名なイーツェルタワーがあり、84メートルの高さで、22階あります。これは第一次世界大戦後、過去また現代のいかなる戦争や暴力も告発するという目的で、建設されました。この平和の塔の四つの壁には、四ヶ国語（フランダース/オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語）で No More War と目立つように書かれています。塔の内部は、平和博物館の展示がなされています。

#### \* イーペル

この町にある「フランダース戦場にて」という平和博物館を、訪問します。これはヨーロッパで非常に人気があり、新しい戦争・平和博物館です。また第一次世界大戦の戦場周辺も訪問する予定です。

#### \* オステンド

ここでは、ナポレオン要塞を訪問できます。これは1805年にイギリスの侵略がある場

合を考え、防衛を強化する目的で造られました。両世界大戦の間、その要塞は占領をしていたドイツ軍の防衛に役立ちました。それは、最近修復されたところです。

\* ブリュッセル、アントワープ

ブリュッセル、ヨーロッパ議会（ベルギー、ブリュッセル、フランダースは、しばしば戦場になりましたが、そこが平和的に統一される際、重要な役割を果たしている）、アントワープ付近のブリーンドク強制収容所も、訪問する予定です。そこでは第二次世界大戦中、ドイツの占領に抵抗した何千人もの人々、ユダヤ人市民、反ナチの人々が、監禁や拷問をされました。多くの人々が亡くなり、処刑されました。戦争が終わるとじきにその場所は、逮捕された戦争協力者の収容所として使われ、彼らは同じような拷問で苦しみました。

**参加希望者は、電子メールでなるべく8月31日までに下記へ連絡して下さい。**

(多少締め切りを過ぎても、構わないそうです。)

\* Name of Museum (博物館名):

\* Address:

\* Telephone:

\* Fax:

\* Email(必ず記入して下さい)

\* Contact person (連絡者)

\* Presumable number of participants (参加予定人数):

連絡先: Mr. Dirk Demeurie(事務局長)

Vredesdomein Diksmuide – IJzerbedevaartcomite

IJzerdijk 49 8600 Diksmuide, Belgium

Tel: 051/50.02.86. Fax: 051/50.22.58. [ijzertoren@unicall.be](mailto:ijzertoren@unicall.be) [www.ijzertoren.org](http://www.ijzertoren.org)

会議への参加を申し込んだ博物館だけに、今後詳細をお知らせします。

\* ベルギーへ直接連絡するのが困難な方は、山根に御連絡下さい。

(Tel: 088-837-2058 Fax: 088-837-2860) [KyYamane@mail.seikyou.ne.jp](mailto:KyYamane@mail.seikyou.ne.jp)

## 「平和のための博物館市民ネットワーク」第2回全国交流会報告

第2回交流会は、2002年8月25日に「第6回戦争遺跡保存全国シンポジウム」の中に組込む形で、甲府市の山梨学院大学で開催されました。

まず「戦争遺跡保存全国シンポジウム」の第3分科会は「平和博物館と若者への継承」のテーマで開催されましたが、平和博物館関係の報告は、全体の10本のうち、以下の6本の報告がありました。

1. 山根和代氏(平和資料館 草の家)「平和博物館、平和博物館建設運動の現状と課題」
2. 森下徹氏(立命館大学)「学生の戦争観・平和意識と立命館大学国際平和ミュージアム」
3. 梶慶一郎氏(東京大空襲・戦災資料センター)「東京大空襲・戦災資料センター設立までの経過と設立後の反響と課題」
4. 安田和也氏(都立第五福竜丸展示館)「第五福竜丸展示館で若い世代に伝える取組み」

5. 吉岡数子氏(平和人権子どもセンター)「『教科書が語る 20 世紀展』を通した次世代への継承」

6. 黒川万千代氏(ホロコースト教育資料センター)「ホロコースト教育資料センターの取組みについて」

以上のような報告がありましたが、これは「平和のための博物館市民ネットワーク」にとって、初めての実質的な経験交流の場になりました。これらの分科会の報告は「戦争遺跡保存全国シンポジウム」の報告書では、レジメが掲載されるだけです。平和のための博物館市民ネットワークでは、平和博物館関係の報告だけを、報告者に加筆していただいて報告書を作成することにしました。ただし、単独の報告書の作成は困難ですので、立命館大学国際平和ミュージアム紀要『立命館平和研究』第4号に特集の形で掲載し、報告書とすることにしました。

「戦争遺跡保存全国シンポジウム」の終了後引き続いて、山梨学院大学で「平和のための博物館市民ネットワーク」の独自の集まりを開催しました。これには山根和代氏(平和資料館 草の家)、梶慶一郎氏(東京大空襲・戦災資料センター)、北村浩氏(同)、安田和也氏(都立第五福竜丸展示館)、吉岡数子氏(平和人権子どもセンター)、黒川万千代氏(ホロコースト教育資料センター)、村上有慶氏(沖縄平和ネットワーク)、大日方悦夫氏(松代大本営の保存をすすめる会)、岡田英樹氏(立命館大学国際平和ミュージアム)、山辺昌彦(同、事務局)の10人が参加しました。

ここでは、さきの報告書刊行の件を確認するとともに、今後の取組みについても話しました。そこでは以下の点を確認しました。

1. 今後の交流会については、今回のような形ではなく、単独で開催する。次回は、来年秋の日本平和学会の時に、その中ではなく、その前後の1日を取って交流会を開くことを追求する。その内容的な準備は、山根・山辺を中心に、メールなどで会員間の意見を交流しつつ進める。その際、会員が関係している平和博物館や平和博物館をつくる運動だけではなく、広く平和博物館関係者に報告していただくように努力する。

2. ニュースの「ミューズ」に、編集の方でまとめた記事のみでなく、平和博物館などの特定の取組みについての報告を、会員に寄稿してもらうようにする。

最後に事務局から、以下の会計報告がありました。

### 「平和のための博物館・市民ネットワーク会計報告

2001.11~2002.8」

2002年8月21日現在

科目	収入	支出	残高
繰越	800		
会費	172000		
カンパ	13110		
返済		56100	
送料		108560	
事務費		575	
合計	185910	165245	20665

## 会費内訳

年度	人数	金額
2002	35	70000
2001	27	54000
2000	13	26000
1999	7	14000
2003	2	4000
2004	2	4000

→

## 「ミューズ」と”Muse” の原稿募集中！

平和のための博物館・市民ネットワークでは、通信「ミューズ」(日本語版で、海外と日本の平和博物館の活動を紹介)と Muse (英語版で、日本の平和博物館の活動を海外に紹介)を年2回出しています。「ミューズ」は、4月と10月に出し、Museは、6月と12月に出すようにしています。

- \* 各平和博物館や、各グループの活動報告など
- \* 企画案内や、共同企画の呼びかけなど

原則として400字以内(原稿が多くて送料が高くなる場合、全文を載しないで、要約する場合があります。)

次号は、「ミューズ」を10月に発行予定/締め切りは、9月15日

Museを12月に発行予定/締め切りは、11月15日

原稿の送付先は、「草の家」の山根へ(詳細は、下記へ)

## メールアドレスとホームページ：御連絡を！

平和のための博物館・市民ネットワークに関する意見、要望など、メールで交流したいと思います。そのため、まずメールアドレスを山根に御連絡下さい。

そしてホームページのある方は、それもお知らせ下さい。

781-0241 高知市横浜新町2 - 4 1 2 山根和代

Tel: 088-837-2058. Fax: 088-837-2860. E-mail: [kyamane@sings.jp](mailto:kyamane@sings.jp)